

| | | | | | | | |
|--------------------|--|--|----|---------------|--------|------|----|
| 科目名 Course Name | 教職概論(経営的事項、地域との連携、学校安全) Introduction to Teaching Profession | | | ナンバリング No. | K4-001 | | |
| 年次 | 2年 | 期別 | 後期 | 単位数 | 2 | 授業形態 | 講義 |
| 担当者氏名 | 西 敏郎 | | | | | | |
| 連絡先(質問等) | C-Learning で対応 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択(幼稚園教諭養成課程必修) | | | | | | |
| 関連 DP | DP2 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>教育法規に基づきながら教員の存在意義や役割、その資質能力、職務内容や義務、チームで学校運営することの大切さを整理し、学生自らが自己の教職への適性を自覚し高める。学校経営や学校と地域との連携、学校安全への対応の基本を整理する。</p> <p>①教員の存在意義や役割、職務内容や義務、チームで学校を運営することの意味を述べられるようにする。 ②教員の資質能力を知り、自己の適性を高めるために必要なことを述べられるようにする。 ③学校経営、学校と地域との連携について述べられるようにする。 ④学校安全への対応の基本について述べられるようにする。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 教科書は使用せず、プリントと黒板を使っての説明を中心とした講義を行う。教育法規についてわかりやすく説明する。また、内容のポイントで質問をする。講義者が、学生の述べた答えを尊重しながら、幅広い観点からそれを補い、深める。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | | | | | | |
| | L02 | <p>①社会的使命を自覚して教員として働くことができる。 ②地域と連携して学校組織の中でどのように働くべきかを考察して実践できる。 ③良き教師とはどのような存在か、いかに努力をすべきかを考察して実践できる。 ④学校安全のために配慮することができる。</p> | | | | | |
| | L03 | | | | | | |
| | L04 | | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 課題等の結果は、まとめて授業内にてフィードバックする。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | 適宜自作プリントを配布する。 | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | こどもフィールド教職履修者のみ受講可。 休まないこと。私語をしないこと。真剣な態度で講義に臨むことを望む。 事前・事後学習に費やすべき時間の目安は180分とする。 | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|--|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | 積極的に授業に臨み、自分の考えを論理的に述べるとともに、他者の考えを明確に分析できるかを評価する。 | | 30 | | |
| レポート/作品 | 自分の考えを論理的に述べ、わかりやすく説明できいるかを評価する。 | | 10 | | |
| 発表 | | | | | |
| 小テスト | | | | | |
| 試験 | 重要事項等を押さえ、自分の考えを明確に述べられるかを確認する。 最高水準としては、自分の考えを含めて論理的に述べ、説得力のある内容であること。 | | 60 | | |
| その他 | | | | | |
| 合 計 | | | 100 | | |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|--------------------------------------|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス、教育法規における教員の位置づけ。 |
| | 事前・事後学習 | 教職に関わる教育法規について整理する。 |
| 2 | 授業内容 | 公教育の目的と教員の存在意義 |
| | 事前・事後学習 | 教員の使命について整理する。 |
| 3 | 授業内容 | 教員の職責と職務内容 |
| | 事前・事後学習 | 職責と仕事の内容を整理する。 |
| 4 | 授業内容 | 教員の身分保障と義務 |
| | 事前・事後学習 | 教員の身分保障と義務を整理する。 |
| 5 | 授業内容 | 教員の種類と職階 |
| | 事前・事後学習 | 教員の種類と職階の要点を整理する。 |
| 6 | 授業内容 | 教職観の変遷(聖職者的教師像と労働者的教師像) |
| | 事前・事後学習 | 教師像の特徴を整理する。 |
| 7 | 授業内容 | 教職観の変遷(専門職的教師像) |
| | 事前・事後学習 | 教師像の特徴を整理する。 |
| 8 | 授業内容 | 教員に求められる今日的役割と資質や能力、教員としての適性の理解と進路選択 |
| | 事前・事後学習 | 教員に要求される資質や能力を整理し、自己の適性を判断する。 |
| 9 | 授業内容 | 多様な専門家と協働するチーム学校運営 |
| | 事前・事後学習 | その図式とPDCAを考える。 |
| 10 | 授業内容 | 教育委員会、学校経営、校務分掌の基本 |
| | 事前・事後学習 | 組織的つながりを整理する。 |
| 11 | 授業内容 | 学校教育の年間の流れと学校評価(PDCA サイクルの重要性) |
| | 事前・事後学習 | そのPDCAの重要性について考える。 |
| 12 | 授業内容 | 学級経営の基本、教職員と学校外の関係者との連携や協力、学校と地域の連携 |
| | 事前・事後学習 | 連携と協働がなぜ大切なのかを考える。 |
| 13 | 授業内容 | 地域と連携する学校教育活動の意義と方法、開かれた学校づくり |
| | 事前・事後学習 | その要点を整理する。 |
| 14 | 授業内容 | 学校で発生する事故等と学校安全の必要性 |
| | 事前・事後学習 | それらの対策のポイントを整理する。 |
| 15 | 授業内容 | 学校安全への対応(安全管理、安全教育の具体的取り組み) |
| | 事前・事後学習 | それらの対策について考え、まとめる。 |